**日本文化財科学会**

**会員各位**

**文化財防災協力会員登録制度の開始について**

**日本文化財科学会　文化財防災委員会**

**1.　経緯**

日本文化財科学会では、文化遺産防災推進ネットワーク会議及びその構成団体と協調し、文化財防災委員会が主体となり、HP・会報・大会・公開講演会を通じ、文化財防災の情報を会員の皆様と共有して参りました。

2011年度において本学会は、文化財レスキューに参加を希望した会員の登録をおこない、東日本大震災後に設置された「被災文化財等救援委員会」に協力しました。さらに、日本文化財科学会では、大規模災害が頻発する現状を背景に、災害への準備と復旧復興への協力の必要性が益々高まってきていることを背景にして、2016年度に「文化財防災特別委員会」を「文化財防災委員会」に変更し、文化財防災活動の取り組みの活発化を模索して参りました。その中で、過去の取り組みを踏まえ、文化遺産防災推進ネットワーク会議及びその構成団体と協力しやすい学会内の体制の整備を模索することとしました。

**2.　文化財防災協力会員登録制度の提案**

上記の経緯を踏まえ、文化財防災委員会では、文化財防災の活動へ積極的な協力を希望する会員を「文化財防災協力会員」として名簿に登録し、登録会員相互の交流と情報交換の活発化を行いたいと考えております。

ただし、本学会の文化財防災活動に関する予算は現状では寄付によるもので、それも不足している状況であります。まずは、この制度の裏付けとなる予算確保よりも、会員内での文化財防災への協力体制の促進を優先し、取り組みを加速させることと致します。なお、情報収集にあたっては、職場等での守秘義務を有する場合、そちらを優先下さい。

文化財防災協力会員に登録された場合は、以下の(1)～(3)のいずれか、あるいは全ての取り組みへ協力頂ける方と致します。

(1)　被災した文化財や文化財関係機関に関する情報収集への協力

(2)　応急的な文化財レスキューへの参加

(3)　保存科学等の専門性を必要とする被災文化財の安定化処理、修理への提言・設計・作業を含めた各種協力

(4)　被災文化財データの入力・整理・公開への各種協力

(5)　その他、文化財レスキューや文化財防災に関連した内容

**3.　参加希望会員の登録について**

文化財防災協力会員への登録は、最終ページの情報を文化財防災委員会へ送付することで行います。

令和　　　年　　月　　日

日本文化財科学会

会長　泉　拓良　殿

**日本文化財科学会　文化財防災協力会員の登録について（依頼）**

申請者 氏 名

文化遺産防災推進ネットワーク会議及びその構成団体と協調し、文化財防災・被災文化財レスキュー活動等に取り組む文化財防災委員会の主旨に賛同し、文化財防災協力会員として、以下の届け出を致します。

**1.　個人情報**

文化財防災委員会へお伝え頂けるもののみ記入。

**会員情報**

a 正会員、b 名誉会員、c 学生会員　（該当するものに○を付す）

**連絡先**

自宅住所：

Tel:

Fax:

個人Email:

所属（職場・教育機関等）：

上記住所：

Tel:

Fax:

個人Email

**2.　協力可能分野**

以下の何れかの選択肢の数字に○印を付し、(5)の場合は自由記述欄に記入。複数選択可。

(1)　被災した文化財や文化財関係機関に関する情報収集への協力

(2)　応急的な文化財レスキューへの参加

(3)　保存科学等の専門性を必要とする被災文化財の安定化処理、修理への提言・設計・作業を含めた各種協力

(4)　被災文化財データの入力・整理・公開への各種協力

(5)　その他、文化財レスキューや文化財防災に関連した内容（以下に記入）

（自由記述欄：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

注）　上記個人情報は、日本文化財科学会運営会議・文化財防災委員会において文化財防災の事業で利用し、適切に管理します。